

みんなで育てる 東京の道 東京ふれあいロード・プログラム

参加団体訪問-4 歩きタバコNO! 都民会議の巻

参加者は、ゼッケン、長めのトンガ、軍手、ゴミ袋のスタイルで活動。ウエストポーチ等で両手をあけて動きやすくしています。

歩きながらの喫煙の問題点

火が危ない
煙の嫌いな人に迷惑
灰や吸い殻のポイ捨てが
まちを汚す



放置自転車もポイ捨ての温床になっています。



まちにはゴミがいっぱい! たった30分でこんなに集まりました。



歩道に設置されている路上喫煙禁止マーク

**やめましょう!
歩きタバコ、ポイ捨て、
放置自転車**



携帯灰皿も配ります。



歩きタバコNO! 都民会議の皆さん。これからゴミ拾いと声かけ運動を始めます。



グリーンベルトがゴミ箱状態になっています。



ポイ捨てゴミはなぜか拾いにくいところに隠れています。

歩きタバコNO! 都民会議の活動スケジュール

毎月第1、第3金曜日と第2日曜日、午後1時30分から、新宿駅西口から、区役所方面、都庁方面に分かれて活動。

連絡先 / 代表 武田侃蔵

(090-2521-5770 Email clean@pop.kcv-net.ne.jp)



歩きタバコNO! 都民会議
代表 武田侃蔵さん

小さな運動の積み重ねで、まちはきれいになり、暮らしやすくなります!

私たちが活動している「歩きタバコNO! 都民会議」は、1999年6月に新宿区に集まって結成されました。ポイ捨てゴミのトップである「歩きタバコ」によるタバコの吸い殻をなくそうという運動で、「東京ふれあいロード・プログラム」が本格実施された2003年から、参加団体として加えていただきました。

現在、都内の大多数の区や市で、「ポイ捨て禁止条例」が制定されていますが、まだ「タバコの吸い殻」の散乱は減っておらず、その効果は上がっていないと思います。

携帯灰皿を持ち歩くということがマナーといわれても、持ち歩かない人も多い。また、持っていても面倒だから使わないで、

「ポイ捨て」する人もいます。

「何気なくゴミを捨てる人」に、それがいけないことをどうやって気付いてもらえるのか? いろいろ考えた末に始めたのが「やめて!! 歩きタバコ、ポイ捨て、放置自転車」の啓発ゼッケンをつけて、ゴミを拾いながら、声かけ運動をするということでした。はじめの頃は、怒る人、無視する人と、その反応はいろいろでしたが、今では、声をかけると「すみません」とすぐに火を消してくれたり、「ごろうさま」と励ましてくれる人も増えて来ています。そんな時には、私たちも「ありがとう」とお礼を言いながら、気持ちも晴れやかになります。こんな小さな運動の積み重ねで、まちはきれいになっていくと確信しています。貴重な税金の無駄使いを無くすためにも、モラルアップのこの運動へ、ぜひご理解とご協力をお願いしたいです。